

第1回振り返り

第2回菊川市こども・若者参画協議会

第1回協議会で出た意見から、菊川の未来像と現状評価を整理しました。参画宣言が実現した理想の姿と、今の菊川に対する率直な評価を通じて、これからの方向性を探ります。

参画宣言が実現した菊川

第1回の委員会で出た意見を以下の7つのテーマに分類しました。

1

交流・多世代共生

世代や人種の垣根を超え、多様な人々が日常的に交流し助け合える関係性

2

若者の参画・安心感

意見を否定されず、安心して行政や大人に伝えられる環境とマインド

3

施設・遊び場

若者や子供が放課後や休日に集まれる飲食店、公園、公共施設

4

自治会・地域活動

負担を軽減しつつ、若者が主体的に地域や伝統行事に関わることができる仕組み

5

経済・雇用・定住

交通、企業誘致、所得向上を通じて人口減少を食い止め住みやすいまちに

6

教育・学校環境

郷土学習、予算、学力、いじめ防止など学校教育の質向上と多様性

7

行政への評価と期待

現状の課題を認めつつ、今後の施策への期待感の高まり

【参画宣言が実現した菊川】

カテゴリ	意見の要約	該当する原文
1. 交流・多世代共生	世代や人種の垣根を超え、多様な人々が日常的に交流し、助け合える関係性を目指す意見。	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が大人のやりたいことを聞く ・子ども同士の交流も大切に ・高齢者が長生きしたい ・同年代という横のつながりだけでなく、幅広い世代の縦のつながりができる ・色々な世代が交流できる機会(イベント等)がある ・高齢者がお話しできるコミュニティ ・若者で流行っているものを大人にも! ・人種の垣根がない ・若者とシニアが交流できる場をふやす ・障がいのある子どもたちがきくにも来ている
2. 若者の参画・安心感	自分の意見を否定されず、安心して行政や大人に伝えられる環境やマインドを重視する意見。	<ul style="list-style-type: none"> ・嫌を言える ・やりたいことを受け入れてくれる安心感 ・若者が欲しい施設があったとき、行政に直接言える ・やりたいことを誰に言えば良いか分かる ・大人が大人になっている ・子ども若者も話、意見を尊重してくれる大人があふれている ・子ども若者が自分の考えを遠慮なく安心して伝えることができる ・子ども若者の自己肯定感があがる
3. 施設・遊び場	飲食店、公園、公共施設など、若者や子供が放課後や休日に集まれる場所を求める意見。	<ul style="list-style-type: none"> ・遊べる施設がある ・子ども(小さい子)が遊べる場所を増やす→公園 ・駅前に友だちと遊べるお店(飲食店)がある ・誰でも集まれる場所がある ・若者向けのお店があちらこちらにできる ・お店が増えている ・子ども若者が自由に過ごせる場があふれている ・きくる2号館
4. 自治会・地域活動	負担を軽減しつつ、若者が主体的に地域や伝統行事に関われる仕組みを提案する意見。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に若者も参画する ・自治会の仕事が軽くなる ・自治会に若者が参加しやすくなる、若者自治会を作る ・お祭りが存続している ・まちづくりに興味を持ち活動する子ども若者が多くなる ・子ども若者が地域の大人と一緒に地域のために活動できる
5. 経済・雇用・定住	交通、企業誘致、所得向上などを通じて、人口減少を食い止め住みやすい街にする意見。	<ul style="list-style-type: none"> ・交通が発達している→少子高齢化減少 ・通勤・通学で菊川に来るだけではなく遊びに来れる ・経済がまわっている買い物とか ・小さい子が安心して遊べる 治安 ・企業誘致→若者が増える ・企業から寄付が増える ・菊川に若者が増える ・手あつい支援 ・人口が増える!! ・菊川市の転入者数が拡大 ・住みやすい自治体全国一 ・人口が増える ・市民の平均所得県内1
6. 教育・学校環境	郷土学習、予算、学力、いじめ防止など、学校教育の質の向上と多様性を求める意見。	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの歴史を知る機会や授業がある ・菊川の学校が全て日本の公立校に ・学校への予算が増える ・探求力が向上する ・全国学力学習状況調査の成績日本一 ・学校からいじめがなくなる
7. 行政への評価と期待	現状の課題(ツラさ)を認めつつ、今後の施策への期待感が高まっている状態を指す意見。	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が菊川 Loverになる ・期待値が上がる ・ツラくなっている ・大人が住みづらくなっている

現状の菊川は何点?

委員による率直な現状評価。先駆的な取り組みへの評価と、まだ見えぬ課題が混在している。

1

先駆的な取り組みへの評価

参画宣言や若者向けの場の提供など、行政の積極的な姿勢を高く評価

2

参画の「広がり」と「温度差」

一部の意識が高い若者だけでなく、学校や地域全体への浸透に課題

3

個人の主体性への「依存」

まちづくりが特定の個人の頑張りに支えられており、仕組みとしての自走に不安

4

理想と現実のギャップ

提案や発言はできているが、実際のまちの変化や理想像にはまだ遠い

5

生活基盤・インフラの不足

雇用、言語対応、子育て予算など、生活を支える根本的な力の弱さ

6

交流の質と範囲

交流の機会はあるものの、参加者が限定的であり、より幅広い世代・層への拡充が必要

7

まちの魅力とブランドへの期待

帰りたいまちとしてのブランド力や特定企業・ライフスタイルへの期待

【現状の菊川は何点？】

カテゴリ	意見の要約	該当する原文（3ページ目）
1. 先駆的な取り組みへの評価	参画宣言や若者向けの場の提供など、行政の積極的な姿勢を高く評価している。	<ul style="list-style-type: none"> ・参画宣言を出したことが20点 ・きくるや若者のための取り組みなどは問題なく進んできている ・行政としてはやろうとはしている ・職員をほめたい ・この会があるから(+10点)
2. 参画の「広がり」と「温度差」	一部の意識が高い若者だけでなく、学校や地域全体への浸透に課題がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・人による温度差、地域間における温度差 ・自分も自分の周りの人も菊川市に残りたいと思っている人が少ない ・学校の同級生とかは、全然できていないと思ったから(関わり) ・まちづくりに関わる若者がいる ・(参画が) これからのあたりまえになることに期待
3. 個人の主体性への「依存」	まちづくりが特定の個人の頑張りに支えられており、仕組みとしての自走に不安がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の主体性や活躍は◎ ・まちがそこに依存しているのでは？ ・今いる人が全員いなくなっても今の状態を維持できるのが理想 ・私がこのように関わり始めたからできると思うけど
4. 理想と現実のギャップ	提案や発言はできているが、実際の街の変化や理想像にはまだ遠いという認識。	<ul style="list-style-type: none"> ・理想像をあげてみると、取り組めてないことがほとんどだから30点 ・実際に参画したことにより菊川が変わっている姿が見えるようになったら高得点 ・実現するのが難しそう ・足場がある2点、そこからは0点
5. 生活基盤・インフラの不足	雇用、言語対応、子育て予算など、生活を支える根本的な力の弱さを指摘。	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用を生む力が弱い ・子育て・子生み世代への予算は？ ・言語への対応は頑張っている ・学校の先生に丸投げ ・外国人を呼ぶだけ呼んだ状態
6. 交流の質と範囲	交流の機会はあるものの、参加者が限定的で、より幅広い世代・層の混ざり合いを求めている。	<ul style="list-style-type: none"> ・他世代が交流できるイベントがほしい ・学校のイベントで地域交流はあるけれど、できている人は限られているから ・行政に施設が欲しい!!と言ってる時点で+5点
7. 街の魅力とブランドへの期待	帰りたい街としてのブランド力や、特定企業・ライフスタイルへの期待。	<ul style="list-style-type: none"> ・一部、帰りたい、帰って来たいまち ・若者が菊川のことを好きになる ・これからモンベル3点、ノースフェイスかも+6点 ・ビレッジハウスのリノベなど
8. その他・未分類	抽象的な概念や価値判断。	<ul style="list-style-type: none"> ・アーミッシュ ・未来を見る ・希望→未来を見たい

見えてきた課題

1

「参加」から「参画」への未到達（決定権の不在）

意見を聞く場はあるが、決定権が伴っていないのではないか

2

属人的依存

特定の個人や職員の熱量に依存し、仕組化・一般化できていないのではないか

3

成功体験の欠如

自分の声でまちが変わったという実感が得られていないんじゃないか